

#1319 日本の ICT デバイスとソフトウェアを使用した  
遠隔医療の調査：インドネシア

2021.02.17

<p>【イベント名】 日本の ICT デバイスとソフトウェアを使用した 遠隔医療の調査：インドネシア</p>	<p>【概要】 アジア健康構想（AHWIN）協力覚書に基づき、インドネシア、ベトナム、フィリピン、インドの各国と、デジタル技術を活用した遠隔医療技術に関するオンライン国際カンファレンスが内閣官房により企画された。日本企業が各国の医師達に対して自社製品をユースケースとして紹介し、今回はインドネシアの主要大学や基幹病院との間で活発な意見交換が行われた。</p>
<p>【期日】 2021.02.17</p>	
<p>【会場】 シティラボ東京（日本）、インドネシア大学（インドネシア）、パジャジャラン大学（インドネシア）、ガジャ・マダ大学（インドネシア）、セベラス・マレット大学 ムワルディ病院（インドネシア）、ブラウイジャヤ大学（インドネシア）、ハラパンキタ国立心臓血管センター（インドネシア）、ハラパンキタ小児医療センター（インドネシア）、国立循環器病研究センター（日本）、九州大学病院（日本）</p>	
	
<p>モニタに表示される接続施設。</p>	<p>ブラウイジャヤ大学の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：ブラウイジャヤ大学</p>
 <p>Cloud-based monitoring system to support diagnosis (Medical device certification obtained in Japan)</p> <p>cardio intelligence</p>	
<p>提示されたデモンストレーション。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>シティラボ東京の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>